



2020年9月25日

各位

会社名 株式会社ニトリホールディングス
代表取締役社長兼最高執行責任者（COO）
代表者名 白井 俊之
（コード番号 9843 東証第一部、札証）
問合せ先 財務経理部ゼネラルマネジャー 善治 正臣
電話番号 03-6741-1204

2021年2月期 第2四半期累計期間の連結業績予想及び 通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年4月6日に公表いたしました2021年2月期第2四半期累計期間（2020年2月21日～2020年8月20日）及び2021年2月期通期（2020年2月21日～2021年2月20日）の連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 2021年2月期第2四半期累計期間（2020年2月21日～2020年8月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	318,900	57,700	57,900	39,100	347.66
今回修正予想（B）	362,400	80,500	81,000	49,700	441.12
増減額（B－A）	43,500	22,800	23,100	10,600	
増減率（％）	13.6	39.5	39.9	27.1	
（参考）前期第2四半期実績 （2020年2月期第2四半期）	321,598	55,577	56,540	36,847	328.10

修正の理由

前回公表予想におきましては、新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響について、サプライチェーンの停滞による商品供給の遅延リスクや、国内外での個人消費低迷及び来店客数の減少が上期まで継続するものと仮定し、上期の国内既存店発生売上高前年比は96.2%と計画しておりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛要請やテレワークの浸透などによる巣ごもり需要の高まりにより、収納整理用品やキッチンダイニング用品、ホームオフィス家具やリビングダイニング家具が売上を牽引し、国内既存店発生売上高前年比が114.0%と伸長したことにより、当社グループの売上高は予想値を大きく上回る結果となりました。

また、営業利益、経常利益につきましても、緊急事態宣言の影響を受け、店舗の臨時休業あるいは営業時間の短縮等により賃借料、広告宣伝費等の販売費及び一般管理費の割合が大幅に減少した結果、予想値を大きく上回りました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、グローバル新システム設計プロジェクトの方針変更によりソフトウェア関連において67億円、店舗等の固定資産において10億円の減損損失を計上する見込みとなりましたが、経常利益の増加により予想値を上回る見通しとなりました。

2. 2021年2月期通期（2020年2月21日～2021年2月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	653,200	112,200	113,300	75,700	673.08
今回修正予想（B）	702,600	132,900	134,100	85,300	756.04
増減額（B－A）	49,400	20,700	20,800	9,600	
増減率（％）	7.6	18.4	18.4	12.7	
(参考)前期通期実績 (2020年2月期)	642,273	107,478	109,522	71,395	635.42

修正の理由

通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績が想定以上の進捗を見せる一方、下期に向けて新型コロナウイルス感染症の収束の見通しや、昨年度の消費増税の反動などが依然不透明であること、また既存店への追加投資の可能性等、種々の要素を総合的に勘案した結果、前回公表予想を上方修正いたします。

今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

なお、上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上